



小林晴美 エンターテイメント

～未来へ続くウィーンへの想い～

出演：小林晴美（ソプラノ）
森下幸路（ヴァイオリン）
山田武彦（ピアノ）
前田芳彰（コントラバス）
村上海人（パーカッション）

企画・構成：黒田晋也
舞台構成：川西清彦
照明：矢口雅敏

☆演奏予定曲
R. シュトラウス：薔薇のリボン
マルクス：夜の祈り
クルシェネク：「五つの歌」全曲
シュトルツ：ウィーンは夜が一番素敵
ウィーンには楽しい事が！
カールマン：「マリッツァ伯爵令嬢」より
ジプシーヴァイオリンが聞こえてくると 他

2022.11/26 《土》 《昼公演》 15:00 開演 (14:30 開場)
《夜公演》 18:30 開演 (18:00 開場)

Hakuju Hall

全自由席 一般 ¥6,000 (当日 ¥6,500) 学生 ¥3,000 (当日 ¥3,500)

[チケット前売] オペレッタ座：TEL 070-5079-1953 FAX 042-461-8437

ソレイユ音楽事務所 Web チケットの王様：<https://www.soleilmusic.com> チケットぴあ：<http://tpia.jp/> (Pコード：224476)

主催 / ☆オペレッタ座☆ 070-5079-1953 <http://liebeoperetta.org>

後援 / (株) ファザーズコーポレーション・二期会オペレッタ研究会 マネージメント / ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552

〈新型コロナウイルス感染拡大防止対策について〉新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ご来場前の検温、手指の消毒、マスクの着用をお願い致します。体温 37.5℃以上の方、体調不良の方はご来場をお控えください。客席数は情勢により主催者の方で調整させていただきます。

小林晴美エンターテイメント

～未来へ続くウィーンへの想い～



小林 晴美 (ソプラノ)

東京藝術大学卒業、同大学院修了、安宅賞受賞。二期会オペラスタジオ修了、最優秀賞及び川崎静子賞受賞。文化庁オペラ研修所第7期修了。第2回日本声楽コンクール第1位。第5回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位。イタリア留学。情感豊かな稀にみる歌唱力と優れた表現力に定評があり、ヴェルディ「トロヴァトーレ」でレナート・ブルゾンと共演。モンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」ポッペアで二期会オペラに鮮烈なデビューを飾った。以後、「フィガロの結婚」スザンナ、「魔笛」パミーナ、「イドメネオ」イリア、「ヘンゼルとグレーテル」露の精など数々のオペラに出演。芥川也寸志「ヒロシマのオルフェ」では巧みな表現力が高く評価され「チャルダッシュの女王」歌姫シルヴァ、「椿姫」ヴィオレッタでブリマドンナの地位を確かなものにした。一方で「カルメン」ミカエラ等の可憐な娘役においても得難い持ち味を発揮し、常に聴衆の心をつかんでいる。新国立劇場では「チャルダッシュの女王」「マリッツァ伯爵夫人」「サーカスの女王」に出演。その他には「ボッカチオ」フィアメッタ、「天国と地獄」ユリディス、☆オペレッタ座☆オリジナル・オペレッタ「リーベ・クロスター」マルチェリーナ等、オペレッタの世界も広げた。

コンサート活動もベートーヴェン「第九」モーツァルト「レクイエム」戴冠ミサ ロッシーニ「小ミサ」ヘンデル「メサイア」ハイドン「戦時のミサ」ブラームス「ドイツレクイエム」等の独唱で出演。NHK・FMリサイタル、教育テレビ「トウトゥアンサンブル」テレビ朝日「新・題名のない音楽会」等に出演。2002年ウィーンのベーゼンドルファーホール、2003年フィンランドのビヒティ市、2005年にはフィンランドのヘルシンキ市でコンサートに出演。

近年ではリサイタル活動に力を入れ、JTアートホールアフィニスにて、2013年11月に「リーダーアーベント」を、2015年4月には「シュトルツに恋して」と題し、同題名のCDリリース記念コンサートを開催し賞賛を浴びた。

そして2017年から始まった「小林晴美エンターテイメント」は今年5回目となり、新たな出演者を迎えゴージャスに開催される。録音では、オペレッタ座よりソロアルバム「陽だまり」「シュトルツに恋して」、オペレッタ座代表黒田晋也と「ウィーンのトキメキ」「我らのカールマン」をリリース。二期会会員、武蔵野音楽大学講師。☆オペレッタ座☆副代表。



© 井村重人

山田武彦 (ピアノ)

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞(ブルミエ・プリ)を得て卒業。フランスの演奏団体である2e2m、L'itineraire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。これまで洗足学園音楽大学に於いて作曲及びピアノコース統括責任者を歴任、現在同大学教授。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。



森下幸路 (ヴァイオリン)

京都市生まれ。4歳よりヴァイオリンを始め、幼少を米国で過ごし、早くから才能を開花させた。小林健次、田中千香士、江藤俊哉 アンジェラ夫妻、三善晃等の各氏に師事。桐朋学園大学入学後、米国シンシナティ大学特別奨学生としてドロシー・ディレー女史に学び、最優秀賞(オーナーズ表彰)受賞。帰国し89年、桐朋学園大学音楽学部卒業。

2000年まで仙台フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター。現在は大阪交響楽団首席ソロコンサートマスターおよび浜松フィルハーモニーのコンサートマスターの任にある。またオペラの分野では指揮者や歌手の信頼も厚い。ソロアルバムCDは「La vie」「esprit」※レコード芸術誌特選盤、他多数リリース。1997年度宮城県芸術選奨新人賞、2005年浜松ゆかりの芸術家顕彰受賞。2013年より大阪音楽大学特任教授をつとめている。使用楽器は將軍堂(Mr.H.Hiruma)貸与のAntonio Stradivari「Reichardt」1680



前田芳彰 (コントラバス)

桐朋学園大学音楽科ディプロコース出身。1985年東京フィルハーモニー交響楽団に入団。在団中にオーストリア、ウィーンに留学。1994年に同団退団後フリーランスとして活動。2001年東京佼成ウインドオーケストラに入団。現在は佼成ウインド団員の他、千葉交響楽団契約首席。この活動以外にもソロ、室内楽の演奏も行っている。檜山薫、小野崎充、Alois Poschの各氏に師事した。



村上海人 (パーカッション)

横浜出身のパーカッション&ドラマー。自ら作曲やアレンジも行う「うみんちゅバンド」を結成し、2019年にリリースした、オリジナル1stアルバム「Soul of the Sea」がiTunes台湾インストアルバムチャート第2位を記録。SCRミュージックドラム音楽教室の講師としても活動し、後進の育成にも力を注いでいる。



HAKUJU-HALL ご案内

東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 (株)白寿生科学研究所本社ビル 7F

TEL. 03-5478-8867

千代田線「代々木公園駅」、小田急線「代々木八幡駅」より徒歩5分
バス:「富ヶ谷」下車徒歩1分 渋谷南口バスターミナルより10分
渋61(初台駅行)・渋63(中野行)・渋64(中野行)・
渋66(阿佐ヶ谷行)・渋67(笹塚循環)

《小林晴美エンターテイメント》 チケットお申し込み用紙

お名前	(ふりがな)	☐ 昼公演 ☐ 夜公演 一般 枚 学生 枚
ご住所	〒	
TEL	() FAX ()	

☆オペレッタ座☆

FAX

042-461-8437